

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療心理科		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		講義	
科 目 名		発達心理学		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年		学期及び曜時間		前期 火曜1限		教室名		5校舎9階	
担 当 教 員		加賀 多希子		実務経験とその関連資格		教育機関(中学・高校・大学)心理相談/教育相談,自治体乳幼児健診にて発達相談,他医療系専門学校にて、『生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ』を担当,臨床発達心理士,公認心理師,学生支援士					
《授業科目における学習内容》											
発達心理学とは、人の誕生から一生を終えるまでの間にみられる発達の変化についての法則や特徴を明らかにしようとする心理学の1つである。本授業では、発達心理学の研究法や発達を規定する要因、各発達理論に加え、胎児期から老年期までの、知覚、認知、運動、遊び、社会性など様々な発達の様相を学習する。											
《成績評価の方法と基準》											
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
『問いからはじめる発達心理学』(有斐閣) その他、適宜資料を配布する。											
《授業外における学習方法》											
教科書で、予め指定された範囲を調べ、疑問点や気になったこと等を整理しておくこと。											
《履修に当たっての留意点》											
毎授業の最後に、リアクションペーパーを提出すること。平常評価の参考とするため、積極的に記入してほしい。											
授業の方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達心理学における「発達」とはどのようなことを意味するのか説明できるようにする。				教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。			
		各コマにおける授業予定	発達するとはどういうことか1:人の生涯をめぐる普遍的な営みと今日的課題/発達段階と発達課題/発達観の変化/生涯発達心理学の理論的枠組み								
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達における生物学的要因と環境的要因との複雑な相互作用について説明できるようにする。				教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。			
		各コマにおける授業予定	発達するとはどういうことか2:進化の産物としてのヒトの発達/社会や文化の産物としての発達/遺伝と環境								
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	胎児期の発達の様相について説明できるようにする。				教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。			
		各コマにおける授業予定	生命の芽生えから誕生まで:生命の芽生え/胎児はお腹の中で何をしているのか/胎児期からはじまる親子のコミュニケーション/出生をめぐる現代的な問題								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期の認知機能の発達及びピアジェの発達段階「感覚運動期」の概略を説明できるようにする。				教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。			
		各コマにおける授業予定	見て・さわって・感じる:ピアジェの発達段階/赤ちゃんは世界を知っている/社会性の萌芽								
第5回		授業を通じての到達目標	乳児期における情緒発達及び社会性の発達について概略を説明できるようにする。				教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。			
		各コマにおける授業予定	他者との関係性を築く:他者からの関わりを引き出す生物学的基盤/乳児-養育者間の初期コミュニケーション/アタッチメント/多様な関係が支える発達								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児期の言語発達と「遊び」の分類について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「いま」「ここ」をこえて: 内的世界を支える表象と象徴機能／言葉が芽生えるまで／幼児期の言語発達／遊びが広げる子どもの世界		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己認知及び自己制御の発達について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	自分を知り、自分らしさを築く: 自己のさまざまな側面／主体としての自己を知る／客体として自己をとらえる／幼児は自己をどうとらえているのか／自己制御の発達		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	情緒や社会性の発達及び児童期の人間関係の発達について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	関わりあって育つ: 心の状態の理解／心の理論にもとづく社会性の発達／仲間の中での育ち		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ピアジェの「具体的操作期」から「形式的操作期」への移行期について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	思考の深まり: 子どもと学校／記憶の発達／動機づけ／思考の深まり		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	心と体の両面で発達の大きな変化をむかえる青年期の発達の諸相について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	子どもからの卒業: 青年期の発達の变化／自己に関わる認知の变化／青年期の友人関係／青年期の恋愛関係／青年期の親子関係		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	アイデンティティの探求と再構成について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	大人になるために1: 成人期のはじまり／アイデンティティの発達／職業選択		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人初期に特有な発達課題(仕事、結婚、子育て等)の諸相について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	大人になるために2: キャリア発達／家庭生活における発達／成人期を生きるということ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の折り返しと成人中期危機の諸相について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	関わりの中で成熟する: 世代性と人生の折り返しの危機／職業生活における発達／親としての発達／老親の介護や看取りにおける発達／ジェネレイショナル・ケア		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢に伴う心身の変化と成人後期の発達課題について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	人生を振りかえる: 老いるとは／認知機能の加齢変化／パーソナリティの発達／発達を支える家族や社会のネットワーク／高齢者の死生観と死をめぐる問題		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達におけるつまずきとその支援について概略を説明できるようにする。	教科書	授業前に教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	発達は十人十色: 発達におけるつまずき／発達障害／児童虐待とアタッチメント／つまずきと可塑性／つまずきの背景にある時代や文化／理解と支援に求められる発達の観点		